

J-Family Journal

みんなにまなびを プロジェクト

JAG 城南進研グループ
Johnan Academy Group

みんなの学びを
応援するにゃ!

城南進研グループ
イメージキャラクター
じょうにゃん



「みんなにまなびを プロジェクト」が発足します!

がんばる城南生 !!

宮地 嶺さん 城南医志塾

知って得する脳科学

第12回 子どもをキレイな大人に育てるには

教育NEWS

「ChatGPT」が教育現場に与える影響

算数の不思議な世界

第7回 回文覆面算と回転虫くい算

2023.
Jul.
vol.16



キズイキほんの学び方、ひとつ上の環境を備
河合塾マナビス



Zoo-phonics Academy



みんなにまなびをプロジェクト



城南進研グループは、すべてのこどもたちに等しく学びの機会を得られる環境を提供し、その学びをもとに、将来の夢の実現にチャレンジするチカラを育てます。

《ロゴに込めた想い》

カラフルなカラー

光や太陽をイメージさせる黄色は、「成長」や「明るい未来」、明るく元気な「子どもの快活さ」を連想させます。文字には、多様性やSDGsをイメージさせる、カラフルな8つのカラーを使用しました。

シンプルな円形

シンプルな円形で、印象に残りやすくなりました。また、「丸ごと」という言葉もあるように、丸い形は「誰も取り残さず、みんなに」というプロジェクト名を表現しています。

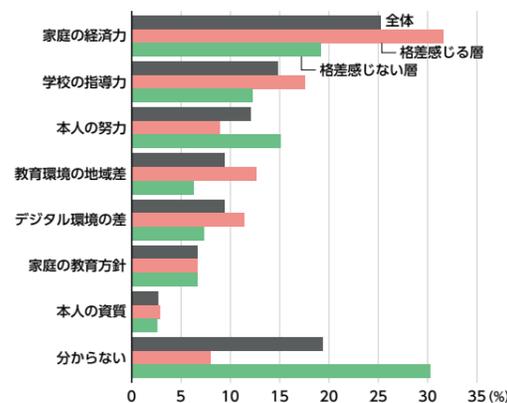
コラム「教育格差」って何だろう？

「教育格差」とは、生まれ育った環境により受けられる教育に差が生まれることです。高度成長時代、給料は上昇が続き、「一億総中流社会」が実現されていました。ところが1990年代に入りバブルが崩壊すると、今まで右肩上がりだった給料も頭打ちとなり、特に2000年代に入ると貧富の差は拡大。従来は経済格差の影響を受けにくかった「教育」にも、格差が表れ始めました。全国の17歳～19歳男女1000人からとったアンケートによると、教育格差を感じる層の約3人に1人が、格差の主な原因は「家庭の経済力」と答えています(図1)。2人以上の勤労者世帯の家計調査によると、特に塾や家庭教師などの補習教育費に顕著な差が出ていることもわかりました(図2)。

さらに、2019年からの新型コロナの影響がそれに拍車をかけました。学校が休校で学びがストップしている間にも、高所得者層は補習教育費を支払うことにより、学びを継続することができました。一方、中低所得者層の“学び”は停滞したまま。また、公立校と私立校のICT教材導入の差も浮き彫りとなり、教育の経済格差はさらに拡大したのです。

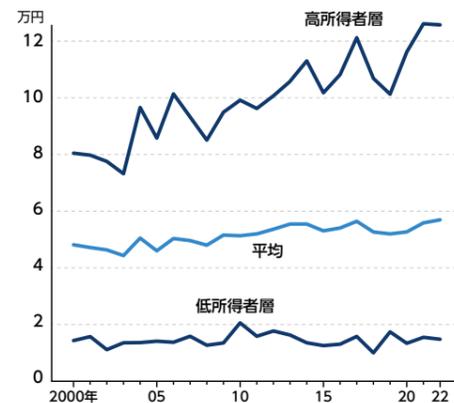
日本の高所得者層が教育への投資を進める一方、中低所得層は家計への教育費の負担が重く、学力差は拡大傾向にあります。また、国立社会保障・人口問題研究所の出生動向基本調査では、子育てや教育にかかる費用を考えて子どもをあきらめる夫婦が多いこともわかっています。日本の未来を担う子どもたちを、いかにして育てていくのか。包括的な視野が求められます。

(図1) 教育格差の主な原因は？



出典：日本財団「第33回18歳意識調査(2020)」

(図2) 年間の補習教育費の推移



出典：総務省「家計調査年報(2022)」、日本経済新聞

「みんなにまなびをプロジェクト」が発足します！

みんなにまなびをプロジェクト



SDGsへの取り組みを強化している当社は、不登校支援や公営塾の運営など、今までも教育格差解消に向けた活動を行ってまいりました。そして今回、教育格差解消をさらに促進すべく発足したのが、「みんなにまなびをプロジェクト(略して「みんな」)」です。発足に向けた想いを、代表取締役社長CEOの下村勝己がお話します。

教育格差解消のために。教育企業として、みんなに学びの輪を広げたい



株式会社城南進学研究社 代表取締役社長CEO 下村 勝己

子どもには「学びたい」という欲求がある

子どもは本来、「学びたい」という欲求を持っています。しかし、教育格差によって、学びにアクセスできない子どもは大変多い。教育企業として、学びのハードルを下げて一人でも多くの子どもたちへ教育の輪を広げることを使命と捉え、本プロジェクトは生まれました。

生まれによって教育格差が生じる現実

教育格差には、経済格差・地域格差の2種類があります。高所得か低所得か・都市か地方かによって、子どもは本来、「学びたい」という欲求を持っています。しかし、教育格差によって、学びにアクセスできない子どもは大変多い。教育企業として、学びのハードルを下げて一人でも多くの子どもたちへ教育の輪を広げることを使命と捉え、本プロジェクトは生まれました。

子どもの選択肢を狭めないために

教育を適切に受けてこれなかった子どもは、成長してからの選択肢が少なくなる傾向があります。学ぶ習慣のなかった子どもは、成し遂げたいことはあっても実現のための術がわかりません。「みんなにまなび」

子どもの教育の機会は大きく変わりまです。低所得層の子どもは塾や習い事に通うことができず、塾がない地域の子どものも、やはり学びの場が狭まってしまふ。今の日本は、家庭と地域という「生まれ」によって、学力や最終学歴に差がある状態になってしまっているのです。



学びの輪をどんどん広げたい

教育格差には、勉強以外にも旅行や遊びといった、多くの人にとっての当たり前が体験できない、体験格差も含まれます。今後は、このような体験格差解消のための支援も行っていきたいですね。また、この6月に開校した児童発達支援施設「フォレストキッズ」での発達障害児支援や、子ども虐待防止「オレンジリボン運動」を通じた被虐待児支援などにも注力し、みんなの学びの輪を広げていきます。

「プロジェクト」では、夢の実現の根っこの部分は教育によって育まれると考え、地域・経済格差に左右されず、学びの機会を提供することを目的としています。具体的には、「デキタス」をはじめとした、当社が持つ幼児・高校生向けのICT教材を、全国どこでも安価に学ぶことのできる教材として、他の企業様とともに1人でも多くの子どもに提供していく予定です。

最近、「肩がぶつかった」「子どもがうるさい」など、ささいなことで激しく怒り出し、キレる大人が増えたように感じます。脳科学的に見ると、キレる最大の原因は、**前頭前野の未発達**です。前頭前野は、物事を考えて判断する場所。問題解決能力に秀でている人は前頭前野が発達しているため、腹が立つことがあっても冷静な判断を下せます。

よって、前頭前野を鍛えれば、キレない大人になるわけです。脳は使うほど発達しますが、使わなければ発達しません。幼児期に我慢や抑制を覚えさせないと、前頭前野が未発達のまま大人になってしまいます。

乳幼児期には、**NO-GO**の訓練が有効です。これは「**しなかつたらほめ**」というように、例えば、壁に落書きをしたがるとき、そ

競先生の 知って得する 脳科学

第12回 キレる現代人が急増中?! 子どもをキレない大人に育てるには

コリンについて書かれた、日本で最初のレシピ本です!

「脳を育てる! 子どものためのブレインフード&レシピ71」

監修/久保田競
城南進学研究社
1350円(税別)

大好評発売中!!

Profile
くぼたのうけん顧問 **久保田 競**
1932年大阪生まれ。京都大学名誉教授、医学博士、脳科学者。東京大学医学部・同大学院卒業。京都大学教授、同研究所所長を歴任。2011年春、瑞宝中級章を受賞。40年以上前から赤ちゃん育脳の意義を唱え続け、妻久保田氏とともに久保田式育児法を考案。「脳の発達に応じた教育」をいち早く提案している。

の際、落書きを「ダメ」と叱るだけでなく、紙に書くように教えて、できたら「えらい!」とおおげさなくらいにほめる。このように、**積極的に何かをしながら「よし、よし」と同時に覚えていくこと**で、前頭前野が発達します。

また、赤ちゃんには**喜怒哀楽を多く経験させる**ことも大事です。その際に重要なのは、**赤ちゃんの感情をわかってあげること**、そしてそれを**態度で示す**ことです。赤ちゃんが泣いているときは、「おむつが濡れている」「ママが恋しい」など、訴えていることが違います。母親は、泣き方を注意深く観察し、その意図を見抜くようにしましょう。逆に、笑ったり喜んだりしているときは、同じように笑い、喜びましょう。そうすると、それが快信号となり、赤ちゃんは母親が何を考え、何をしようとしているか、察するようになります。それが脳の発達につながり、賢い子ども・賢い大人へと成長していきます。

がんばる城南生!!



高校時代を過ごした医志塾は、第二の我が家のような場所。週1~2回、後援指導に当たっています。

部活や習いごとなど、勉強+αを頑張っている城南進研グループの生徒を紹介します。

今回の城南生は...

みやじ れいん
宮地 領さん
東海大学医学部1年生
(2023年「城南医志塾」卒業)

城南医志塾
医師とつながる医学部受験塾



J-Family Journalでは、誌面に登場してくれる城南生を大募集しています。①名前 ②年齢 ③連絡先電話番号とメールアドレス ④通っている校舎、教室 ⑤頑張っていることを明記のうえ、j_family_journal@johnan.co.jpまでご応募下さい。登壇していただく方には、こちらからご連絡させていただきます。

がんばる城南生 募集中!

2019年から「城南医志塾」に通い、今年春、晴れて東海大学医学部に合格した宮地領さん。医学部受験という難関をくぐり抜けた宮地さんに、自身の医学部受験や大学生生活について、お話を聞きました。

「祖父が開業医をしていて、幼いころからその姿にあこがれを抱いていました。医学部を本気で目指すため、高校1年生のときに「城南医志塾」に入塾。自習室が1人1ブース与えられること、校舎の雰囲気明るく、勉強しやすいような環境が気に入りました」

医学部受験というと、勉強範囲も広く、モチベーションの維持が大変ですが、「『医学教育』の授業で医師になる自分を具体的にイメージしたり、仕事のやりがいに触れることで、モチベーションを下げることなく勉強が続けられました。先生方もフレンドリーで、

何でも相談できるのもありがたかったです」

大学生活については、「高校時代は勉強メインだったので、大学は勉強以外にも励む」と思い、部活は茶道部、ライフサポート部、子ども病院部、男子バレー部(マネージャー)に所属しています。以前習っていたピアノも再開しました」と、多忙ながらも充実した日々を送っている様子。さらに「自分が医学部受験で培った経験を役立てたらと、医志塾でトレーナーも始めました」とは、なんとも頼もしいお言葉です。

将来は、患者とその患者の家族まで笑顔になれるような総合診療医を目指しているという宮地さん。最後に、後輩城南生にエールをもらいました。「周りの大人に頼りながら、充実した受験生活を送ってください。頑張った日々は必ず自分の自信になります!」

田邊先生の 算数の不思議な世界

第7回 回文覆面算と回転虫くい算

Profile
りんご塾代表 **田邊 亨**
滋賀県出身。ニューヨーク市立大学及びペンシルバニア州立大学で学び、その後大手国際特許事務所、学習塾を経て、現在は彦根市でりんご塾を5教場運営している。2010年より、「りんご塾」として算数オリンピックに参戦し、毎年多数の受賞者を輩出している。長年の指導経験から、算数の早期教育の重要性や、算数好きな子どもを育てる家庭のあり方等についても全国で講演会を行っている。著書多数。

「回文」ご存じですね。「まさか、さかさま?」「夏まで待つな」など、初めから読んでも逆さから読んでも同じ文になる言葉遊びです。ほか、「覆面算」というものもあります。一つの文字に一つの数字が対応して、式を成り立たせるクイズです。

今回は、その覆面算を回文で作ってみましょう。では、「夜、すき焼きするよ」という回文から。

$$\begin{array}{r} \text{ヨルスキ} \\ \times \quad \text{ヤ} \\ \hline \text{キスルヨ} \end{array}$$

上の式のそれぞれのカタカナに、1~9の数が入ります。これはとても難しいので解けたらすごいです。答えは **2178×4=8712** となります。

次に、筆算の中の数字を回転させてみる、「回転虫くい算」を思い浮かべました。1~9までの数字を1回だけ使う筆算を4つ作ります。今回は「235」を使って、「フミコ(235)さんのでんぐり返り」と呼びましょうか。では、「235」という数字が縦にも横にもなるように、ぐるっと1回転させましょう(図1)。そうしたら、□に1・4・6・7・8・9を1回ず

つ入れて、式を成立させてください。注意点は、「繰り上がり」と「繰り下がり」です。

$$\begin{array}{r} \text{図1} \quad (\text{ア}) \quad \begin{array}{r} 235 \\ + \quad \square\square\square \\ \hline \square\square\square \end{array} \quad \rightarrow \quad (\text{イ}) \quad \begin{array}{r} \square\square2 \\ + \quad \square\square3 \\ \hline \square\square5 \end{array} \\ \\ (\text{エ}) \quad \begin{array}{r} 2\square\square \\ + \quad 3\square\square \\ \hline 5\square\square \end{array} \quad \leftarrow \quad (\text{ウ}) \quad \begin{array}{r} \square\square\square \\ - \quad \square\square\square \\ \hline 235 \end{array} \end{array}$$

ぜひ親子で考えてみてください。足し算と引き算のみですから、低学年から解けますよ。答えは下記です。

(ア) 235+746=981 (イ) 482+193=675
(エ) 981-746=235 (ウ) 248+319=567

※(イ)と(エ)は別解もあります

「こんな問題をどうやって考えつくの?」とよく聞かれますが、その質問が一番困ります。意外や意外、じいさん天才児、なんですよ。

教育 NEWS 「ChatGPT」が教育現場に与える影響

日本は使用に寛容な姿勢

今、世界中で話題の「ChatGPT」。アメリカの「OpenAI」という人工知能の研究開発機関が開発し、2022年11月に公開された対話型AIです。インターネットの登場以来のインパクトと言われ、利用者が2カ月で1億人を突破するなど破竹の勢いで広がる一方、イタリアのように個人情報の保護などを理由に使用を一時禁止したり、フランスやドイツなど規制を検討する国も出ています。一方の日本は、欧米に比べると比較的寛容な姿勢ですが、大学など教育機関では使用を規制する動きもあるようです。



国内の大学の見解

東京大学	学位やレポートについては、学生本人が作成することを前提としているので、生成系AIのみを用いて作成することはできない
京都大学	AIによる文章作成には誤った情報が含まれるリスクがあり、自ら「文章を書く」ことに伴う重要な検証プロセスが欠けている。学生には、時間をかけてじっくりと自分の文章を練り上げる習慣を身に付けてほしい
上智大学	レポート、小論文、学位論文等において、使用を認めない。使用が確認された場合は、厳格な対応を行う。教員の許可があれば、その指示の範囲内で使うことは可

活用を始めている学校も

「1人1台タブレット」が普及している小中学校ではどうでしょうか。一律に禁止することはしない方針で、すでにChatGPTを活用している小中学校もあります。ある問いに対して生徒が回答し、ChatGPTの回答と比較するという形で授業に採り入れている事例もありました。一方、読書感想文や作文などの宿題をChatGPTに書かせるといったケースも懸念されており、各教育の現場では、ChatGPTに論文や作文を書かせ、子ども自身が考えることをしなくなるということが、最大の懸念点と言えそうです。子どもが、自身の考えを深めるためのツールとして活用するなど、適切な使用方法の策定が急がれるところです。

AIリスクから子どもを守る

OpenAI社は、ChatGPTを無料で提供することで、多くの人々がAI技術を利用し、AIの可能性を広めることを目的としています。誰でも自由に利用でき、人々の暮らしを便利にするメリットがある反面、情報漏洩や思考力低下など大きなデメリットも伴うAI。教育現場で活用する場合にも、AIのリスクから子どもを守るという意識が必要です。文部科学省は近々、学校や有識者の意見を聞き取り、学校現場での活用方法や注意点をまとめた指針を作るとしています。



夏期講習 受付中!

今、必要なことを集中学習

城南コベッツ
成績保証のある個別指導

<https://www.covez.jp/>




Forest Kids フォレストキッズ

**川崎教室
2023年
6月開校!**



フォレストキッズは、発達障害に特化した児童発達支援施設です。一人ひとりの課題や個性に着目し、「オーダーメイド」の療育プログラムを作り上げていきます。

発達支援のための
理想の支援施設ができました。

- ことばのおくれ
- 落ち着きがない
- 手先が不器用

詳しくはこちらから!
<https://forestkids-johnan.com/>




城南ブレインパーク

サマープログラム 2023開催!

7月



城南ブレインパーク各校舎にて、各サービスの短期レッスンが受けられるイベントが始まります。ワクワクする学びがいっぱい、夏休みの自由研究にもピッタリ。しなやかな感性をみがき、たくましい知性を育む夏にしよう!

個別指導 RINGOJUKU
0歳からの育脳教室
くぼたのうけん

**アトリエ 太陽の子
LOS NIÑOS COMO SOL**

SoroTouch

Viscuit ビスケット

Little Scientist
英語で楽しく理科実験

城南ブレインパーク
<https://kubotanouken.com/brainpark/>



2023年度 クリエイティブ・ラーニング講座 SDGsと地球の未来

日大生物資源科学部の教授方を招き、SDGsの課題について現在どんな研究が行われているのかを学び、地球の未来に向けて何をすべきかを探究する講座です。「国際共生」という切り口から、SDGsと地球的な課題についてともに考えます。

自主創設 **日本大学** × **城南コベッツ** × **城南推薦塾**
成績保証のある個別指導 総合型・学校推薦型選抜対策



**在籍生限定
参加費無料**

7月29日(土)
「国際共生」から考えるSDGs

SDGs目標10: 人や国の不平等をなくそう

李 裕敬 専任講師 **石田 正美** 教授